

# 生きる力を育む

緑住空間体験

学び  
[資料集]

信州・白樺湖



花の館

亀屋ホテル



## 生きる力を育む

人間作りや人との交流のマナーを学び、地域住民と交流する中で『人と人のふれあい』、『自然と心のふれあい』、『体と土のふれあい』、『作る人と食べる人のふれあい』、『都市と農村のふれあい』を促し次世代に命の大切さ、自然の大切さ、食の大切さを教え、さらに、農村文化を伝え、農村の存在意義を認識させることを目的としています。

少年時代に色々なことを体験したことのある大人は物事を比較する力を持っていて、体験のない少年達は目の前にあることが全てで比較することが出来ないといわれます。『肉体は放って置いても大人になる』『精神は教えなければ大人になれない』のです。



生きる目的や意義を感じがたい社会に育つ子どもには不可解な社会観、価値観、文化観が生み出され、人間の存在感の希薄化や物事の不確実性によって利己主義的人間が発生し、情緒不安定児が多くなっています。人生の基礎が育まれる少年期は「生きる力を育む」為の、よりよく生きるのに大切なこと、先人達の知恵や生活文化を中心とした体験活動が必要で、大人になるための体験学習＝伝統的教育＝といわれる、心と文化の遊びや生活体験を行い、学び、心身を培うことです。最も大切な体験活動は、物が足りない不足や不便など素朴な体験であり、これらが感動を呼び、一生涯忘れる事の出来ない思い出として残っていくものです。青少年教育施設の体験活動は、キャンプ、野外ゲーム、自然の擬人化等の欧米型野外レクリエーション中心の形や技術習得が主であり、学校教育は、ボランティア体験、自然体験、職業体験が主となっています。これらは単なる体験として楽しませる体験学習であり、社会性や人間性を豊かにし、「生きる力」の育成に最も重要な、生活体験や人間の思考力、防衛本能、生きる忍耐力等の向上を促す体験が少ないのです。

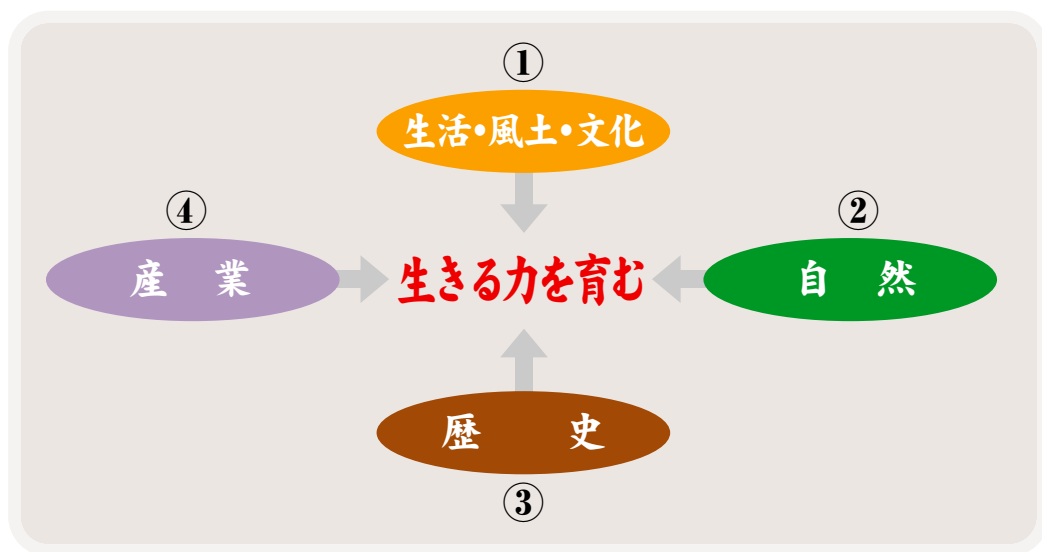
子どもたちに伝えるのは美しさです。

信州せいしゅん村より



# 信州での総合学習

総合学習とは、私たちが住み、生活の中にこそ有るのではないのでしょうか。生活、風土、文化、歴史、産業、自然といった環境を、自分たちの地元で学び、その知識、知恵、経験を生きる糧とし、生きる力を育むものではないのでしょうか。また、この信州での校外学習が、総合学習の一環として位置づけるには地元と信州の違い、類似、つながりを色々な方面から検証し、学び、体験することにより、それらを、自らの生活の場に生かし、実践することが校外学習に求められることではないのでしょうか。そのような観点からこの「緑住空間体験、学びの資料集」を作成し、今の子供たちが学び、検証、体験する場を少しでもご提供し、これからの総合学習のタイトルにもなっている【生きる力を育む】に微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。



## 学校・地元での学習

自分たちの生活の場でもある地元の総合的な環境を、分野ごとに分かれて学び、検証し、体験実践する。また、この信州に関しても、電話での聞き取り調査、文献による下調べ、新聞等からの検証を行う。また、現地に行き行って質問することなどをまとめておく。なお、必要に応じて資料提供、講師派遣等も行う。

## 現地での学習

各フィールドに分かれて、各専門の講師のもとにて事前に学習してきた事を検証し、また、新たな発見をしよう。さらに、地元と現地との相違、類似、つながり等も再度確認する。

## 事後学習・総括

地元と信州の違い、類似、つながり等を総括し、それらのものが自分たちの生活の場にどのように生かしたら良いかを考えまとめる。また、その学習を通して触れ合った人々と関りを再考してみる。



## 1

## 生活・風土・文化

主なフィールドを“武石村”とし、各班（5人）毎に各家庭に入り、田舎の風土・生活・文化にふれると共に、普段着の農村を実体験する。また、お年寄りの昔話から、昔の生活と現代の生活の違いを発見し、自らに生かす。

生活	8
風土	9
文化	10
諏訪地方の主な祭りごと	12
食文化体験	13

## 2

## 自然

主なフィールドを、八島湿原、霧ヶ峰、車山、八子ヶ峰とし、各専門（植物、動物、地学、気象、陸水）の講師に分かれて、先生方の説明のもと、学習をする。

地学	16
気象	17
陸水	18
植物	19
哺乳動物	20
野鳥	21
魚類	22
両生類	23
貝	24
昆虫・蝶	25
諏訪の七不思議	26
霧ヶ峰・八島湿原花ごよみ	28
霧ヶ峰↔車山 自然探勝ポイント	29

## 3

## 歴史

主なフィールドを、尖石縄文考古館、八ヶ岳総合博物館、各遺跡発掘場所、乙女滝、おとみ滝、諏訪大社、安国寺等とし、各専門分野の先生方の引率に従って学ぶ。

旧石器時代	32
縄文時代	33
弥生時代	34
古墳時代	35
諏訪大社と御柱祭	36
坂本養川	37

## 4

## 産業

諏訪地方は昔から、精密機械の製造の盛んなところであった。その中でも、セイコーエプソン、三協精機という企業は世界的にも有名であり、特に三協精機のオルゴールは世界一である。そのオルゴール作りを体験し、なぜに諏訪地方が精密工業が盛んなのか、聞き取り調査等で学ぶ。また、高原野菜なども盛んなところであり、農業、畜産、養豚、養鶏、花卉等に分かれて体験し、学ぶ。

精密工業	40
農業	41
養豚、養鶏、畜産業	42
林業	43
地場産業	44
清旬カレンダー	46

